

March 31, 2020

**【前日の為替概況】ユーロドル、6日ぶり反落 月末・期末を控えた売りフロー観測**

30日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは6営業日ぶりに反落。終値は1.1048ドルと前営業日NY終値(1.1141ドル)と比べて0.0093ドル程度のユーロ安水準だった。月末・期末を控えたユーロ売りのフローが観測されたことで、22時過ぎに一時1.1010ドルと日通し安値を付けたものの、米10年債利回りが0.59%台まで低下するとユーロ買い・ドル売りが入り下げ止まった。ただ、米10年債利回りが上昇に転じ0.72%台を回復したため、戻りは1.1056ドル付近にとどまるなど上値は重かった。市場では「先週5日続伸したあとだけにポジション調整目的の売りが出やすかった」との声も聞かれた。

なおスペインでは30日、新型コロナウイルス感染者数が累計8万5195人に達し、ウイルス発生源とされる中国を上回った。感染者数としては米国、イタリアに次ぎ、世界で3番目に高い水準となる。

ドル円は3日続落。終値は107.76円と前営業日NY終値(107.94円)と比べて18銭程度のドル安水準だった。NYの取引時間帯に限れば108.00円を挟んだみ合いの展開だった。「小池百合子・東京都知事が20時から緊急記者会見」との報道で事前に警戒感が高まっていたため、都知事会見終了後に買い戻しが優勢となり一時108.29円と日通し高値を付けた。その後、米長期金利が低下した場面では107.66円付近まで下げたものの、ロンドン16時(日本時間24時)のフィクシングに絡んだ円売り・ドル買いが出るなど108.17円付近まで強含むなど不安定な値動きだった。

ユーロ円は続落。終値は119.10円と前営業日NY終値(120.29円)と比べて1円19銭程度のユーロ安水準。月末・期末を控えたユーロ売りのフローが観測されたことで一時118.80円と日通し安値を更新した。

メキシコ・ペソは軟調だった。WTI原油先物価格が約18年ぶりの安値を更新したことで産油国通貨とされるメキシコ・ペソに売りが出た。ドルペソは一時24.5550ペソ、ペソ円は4.39円の本日安値までペソ安が進んだ。

ブラジルの通貨リアルも軟調だった。対ドルでは一時1ドル=5.1945リアル、対円では20.74円までリアル安に振れた。

**【本日の東京為替見通し】3月末の特殊要因で東京・ロンドンの両フィックスは神経質な動きに**

引き続き新型コロナウイルスの感染や、各国の経済対策などが相場の焦点だが、本日の東京市場のドル円は月末・期末を迎えた特殊要因のフローで上下しそうだ。今年の3月末は東京仲値にかけてドル円は強含んだ。今年も前年同様に期末の仲値での買いが期待できる反面、ここ最近では、仲値以後は本邦勢のリパトリエーション(国外滞留資金の本国環流)を含め、円買いフローが根強く出ていることもあり神経質な動きになりそうだ。なお、東京仲値にかけては事前に様々な噂が飛び交うだろうが、守秘義務が厳しい現状で事前の噂を信じるのは危険だろう。

また、株式市場の動きは3月末を意識し、指数連動型上場投資信託受益権(ETF)に絡んだ買いも散見され、日経平均の下支えをすることになりそうだ。なお、昨年・3月末(29日)の日経平均は172.05円高の21205.81円で引けている。

東京時間は上記のように期末要因での動きに終始する可能性が高いが、欧州時間も3月末のロンドンフィックスにかけて欧州通貨は大きく動く可能性が高い。特にロンドンフィックスは対ドルよりも、ユーロポンドを中心としたクロスの動きが直前から激しくなるので要警戒となりそうだ。フィックスのフローは通常業務で見られるアマウントよりもかなり大きくなることもあるため、ここ最近の流動性の悪い相場の中で激しく乱高下することが予想される。

本日は月末ということで多くの経済指標が発表されるが、中でも一番注目されるのが3月の中国製造業購買担当者景気指数(PMI)になるだろう。市場予想は景況の強弱を判断する節目50を割り込んで45.0の予想となっている。前回は35.7というかなり弱い結果だったが、市場予想は前月よりも回復すると見込んでいる。もし予想から大きくずれた場合は中国経済と関係性が深い豪州の通貨・豪ドルなどが動意づくことになりそうだ。

また、昨日原油先物価格が一時19ドル前半まで下落し、引けは20ドルを回復したが依然として上値が重い。この原油安の影響を受け産油国通貨のカナダドルやメキシコ・ペソも軟調に推移していることで、原油先物価格の動きにも目を配っていく必要がありそうだ。

## 【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

## &lt;国内&gt;

- 08:30 ◎ 2月完全失業率（予想：2.4%）
- 08:30 ◎ 2月有効求人倍率（予想：1.47倍）
- 08:50 ◇ 2月商業販売統計速報（小売業販売額、予想：前年比▲1.2%）
- 08:50 ◎ 2月鉱工業生産速報（予想：前月比0.1%/前年比▲4.8%）
- 14:00 ◇ 2月新設住宅着工戸数（予想：前年比▲14.7%）
- 19:00 ◇ 外国為替平衡操作の実施状況（介入実績）

## &lt;海外&gt;

- 09:00 ◇ 3月NBNZ企業信頼感
- 10:00 ◎ 3月中国製造業購買担当者景気指数（PMI、予想：45.0）
- 15:00 ◇ 2月独輸入物価指数（予想：前月比▲0.3%/前年比▲1.5%）
- 15:00 ☆ 10-12月期英国国内総生産（GDP）改定値（予想：前期比横ばい/前年比1.1%）
- 15:00 ◇ 10-12月期英経常収支（予想：70億ポンドの赤字）
- 15:30 ◇ 2月スイス小売売上高
- 15:45 ◇ 3月仏CPI速報値（予想：前月比0.4%/前年比1.0%）
- 15:45 ◇ 2月仏卸売物価指数（PPI）
- 15:45 ◇ 2月仏消費支出（予想：前月比0.7%）
- 16:00 ◇ 2月トルコ貿易収支（予想：30.5億ドルの赤字）
- 16:55 ◎ 3月独雇用統計（予想：失業率5.1%/失業者数変化2万9000人）
- 18:00 ◎ ホルツマン・オーストリア中銀総裁、講演
- 18:00 ☆ 3月ユーロ圏HICP速報値（予想：前年比0.8%）
- 18:00 ☆ 3月ユーロ圏HICPコア速報値（予想：前年比1.1%）
- 21:00 ◎ 2月南アフリカ貿易収支（予想：20億ランドの黒字）
- 21:30 ☆ 1月カナダGDP（予想：前月比0.1%/前年比1.9%）
- 21:30 ◇ 2月カナダ鉱工業製品価格（予想：前月比▲0.2%）
- 21:30 ◇ 2月カナダ原料価格指数
- 22:00 ◎ 1月米ケース・シラー住宅価格指数（予想：前年比3.2%）
- 22:45 ◎ 3月米シカゴ購買部協会景気指数（予想：40.0）
- 23:00 ◎ 3月米消費者信頼感指数（予想：110.0）
- 20 カ国・地域（G20）財務相・中央銀行総裁テレビ会議

1日

## &lt;国内&gt;

- 08:50 ☆ 日銀・企業短期経済観測調査（短観、3月調査）

## &lt;海外&gt;

- 09:30 ◎ 2月豪住宅建設許可件数
- 09:30 ◎ 豪準備銀行（RBA）理事会議事要旨
- 10:45 ◎ 3月Caixin中国製造業購買担当者景気指数（PMI）

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

## 【前日までの要人発言】

30 日 18:10 岸田文雄政調会長  
「経済対策の提言は明日正式に決定」

30 日 20:40 小池百合子・東京都知事  
「感染爆発の重大局面に変わりはない」  
「若者はカラオケやライブハウス、中高年にはバーやナイトクラブへの出入り自粛を」

30 日 21:10 スラック英首相報道官  
「EU との貿易協議は継続的に行われている」  
「今週は電話にて EU との協議を行う予定」  
「ジョンソン英首相は隔離中。ビデオ会議には参加している」

30 日 21:46 トランプ米大統領  
「本日、プーチン露大統領と電話で原油について議論する予定」

30 日 22:27 ムニューシン米財務長官  
「長期投資家にとっては米国投資への良い機会」  
「第 1 四半期は厳しいだろうが、米経済は新型コロナウイルス感染前は良い状態だった」

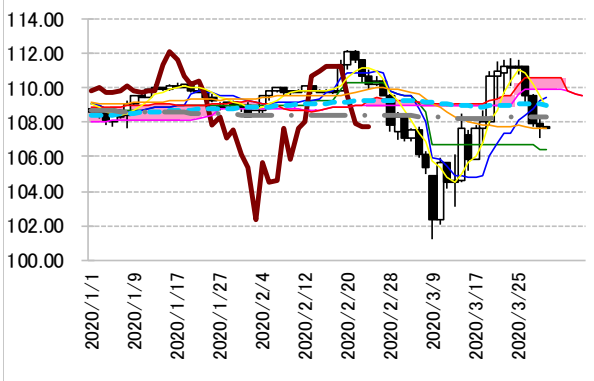
31 日 02:10 G20 筋  
「G20 の財務相と中央銀行総裁らは 31 日もテレビ会議を行い、新型コロナ対応について話し合う」

31 日 02:12 ポスティック米アトランタ連銀総裁  
「FRB の目標は金融市場が機能し続けることを保証」  
「キャッシュ需要は増加している」

31 日 04:42 ペロシ米下院議長(米民主党)  
「トランプ大統領は国防生産法の権限を最大限活用すべき」  
「イースター前には、超党派で新たなコロナ対策法案の作成はしない」

※時間は日本時間

## 〔日足一目均衡表分析〕

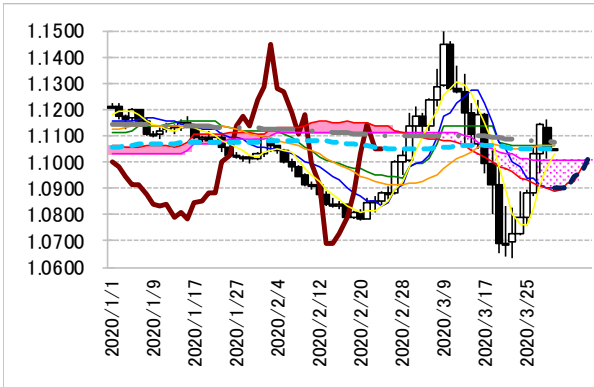


### <ドル円=21日線とともに緩やかに戻す展開想定>

下影小陰線引け。107.60円台で低下傾向の21日移動平均線が示唆する下向きの動きが先行し、107.12円まで下押した。しかし、同線からの大きな下放れは回避。107.76円でNYを引けた。

まずは現水準付近に踏み止まり、21日線の下げ渋りを待ちたい。同線の回復とともに強弱の重要な節目である200日線を回復し、109円付近で推移する90日線を試す展開を予想する。

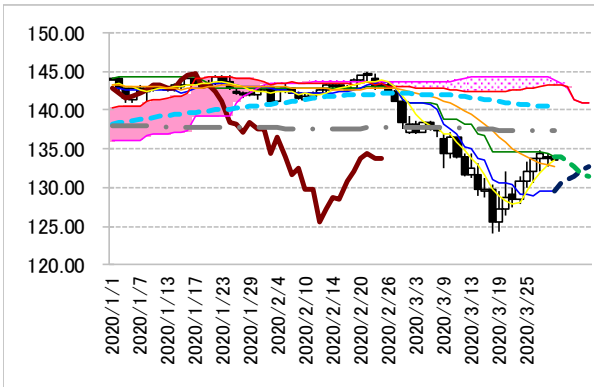
レジスタンス 2	109.03(90日移動平均線)
レジスタンス 1	108.33(200日移動平均線)
前日終値	107.76
サポート 1	107.12(3/30安値)



### <ユーロドル=引き続き雲がサポート>

下影陰線引け。1.1010ドルまで下値を広げる場面もあったが、一目均衡表・雲の上限 1.1009 ドルにサポートされる格好で下げ渋った。下限に一目均衡表・転換線も控える雲が引き続き支えとなり、下押しを限定しそう。雲の上限付近で、上昇へ向けた足場を固めることになりそうだ。

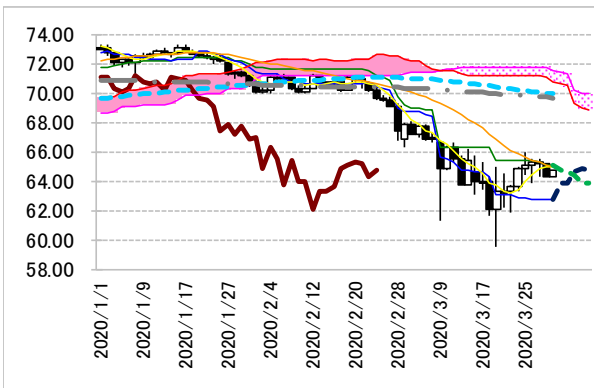
レジスタンス 1	1.1105(3/30レンジ 61.8%水準)
前日終値	1.1048
サポート 1	1.1009(日足一目均衡表・雲の上限)



### <ポンド円=上昇中の転換線がやがて支えになるか>

下影小陰線引け。一目均衡表・基準線 133.91円付近の動きとなっている。132.73円前後で低下中の21日移動平均線に追従するような推移が想定され、基準線をこなしきれないかもしれない。下支えが期待できるのは、低下傾向の基準線と上昇中の一目・転換線(現在 129.53円)の交差が予想される132円付近になりそうだ。

レジスタンス 1	134.42(3/30高値)
前日終値	133.79
サポート 1	132.76(3/30安値)



### <NZドル円=レンジ放れは今週末となる可能性も>

陰線引け。一目均衡表・基準線と転換線に挟まれたレンジの上抜けを試す局面にある。低下中の21日移動平均線も抵抗となり、レンジ上限となる基準線の上抜けがなかなか果たせない。上下いずれにしろ、レンジを放れるのは、基準線と転換線の交差が予想される今週末4月2-3日前後になる可能性はある。

レジスタンス 1	65.52(3/27高値)
前日終値	64.33
サポート 1	64.27(3/27安値)

